

# NewsLetter

*Narita International Friendship Society*



## 2024年 新年のご挨拶

No.265



理事長 品田 等

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2022年2月24日、ロシアによるウクライナ侵攻が勃発し世界中が大きな衝撃を受けました。さらに昨年は、中東イスラエルの地で再び戦争のニュースが飛び込んできました。

これらの紛争は、長い歴史の経緯と共にその地域に根差しており、状況が複雑になっています。昨年のご挨拶の中でも掲げさせていただきましたが、21世紀に生きる地球人として、言葉話す人間として、対話で解決して欲しいと切に願うばかりです。また、紛争のために犠牲になっている方々へ継続的に様々な援助を考えていかなばなりません。

さて、2023年には7月の成田祇園祭時に姉妹都市アメリカ・サンブルーノ市長が成田市を訪れ、コロナ禍で中断していたホームステイ交流の再開を希望されました。更に、中国咸陽市や台湾桃園市、韓国仁川広域市中央区などの来成が続きました。成田市を訪れた理由はそれぞれ違いますが、いずれも今後活発な交流を促進していこうという意図がうかがえました。

11月には昨年より再開できた視察研修を横浜の地で行いました。当協会を設立するにあたり、一早く外国人が居住したこの地から学んだ経緯があります。今も尚、時代に合わせ変化を遂げている地であり、また歴史を重んじている地域としてわが街にもフィードバックしていきたいものです。

本年2月には成田市の事業であります『多文化共生』をテーマにしたイベントが中央公民館で開催される予定です(3ページ参照)。当協会としても趣旨を理解し協力をしていきたいと思っております。会員の皆様にも振るってご参加くださいますようお願い申し上げます。

結びに本年も会員皆様のご活躍とご多幸をご祈念申し上げるとともに、協会活動への更なるご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 仁川広域市中央区行政訪問団来成



成田山新勝寺を訪問

10月10日(火)、5年ぶりに韓国のキム仁川広域市中央区区庁長をはじめとする行政訪問団が成田市を訪れました。成田市長への表敬訪問を兼ねた歓迎夕食会を成田市と共催し、当協会の理事が参加し交流を深めました。

同訪問団は、成田山新勝寺を散策後、成田観光館を訪れ、参道の風景を楽しみました。



歓迎夕食会にて

# イベント開催報告

## 世界の料理を楽しむ会 マレーシア編



今回の世界の料理を楽しむ会は、12月2日(土)に中央公民館で、講師に成田市在住のリンカン・チャンさんをお招きしてマレーシア料理を楽しみました。リンカンさんのお母様もマレーシアから応援に駆けつけてくれました。日本ではチキンライスといえば、鶏肉入りのケチャップライスですが、マレーシアなど東南アジアでは、ゆでた鶏肉と、そのゆで汁で炊いたごはん、に、トウガラシや生姜、ニンニクのソースをかけていただくのが主流で、ソースの種類は地域によって違うようです。今回は、赤唐辛子とにんにくの赤ソースと、しょうがとネギの青ソース2種類でいただきました。



リンカン チャン さん



講師の手さばきに皆さん感心

### MENU

- ① チキンライス
- ② もやしのサラダ
- ③ ピサンゴレン(揚げバナナ)



## 国際交流研修ツアー（横浜）



赤レンガ倉庫にて

11月29日(水)、横浜を行先とした国際交流研修ツアーが催行されました。16名の参加者は、大さん橋から赤レンガ倉庫を見学し、昼食後、横浜税関資料展示室や横浜開港資料館を訪れ、開港時より日本の貿易を支え、海外との交流の主軸的役割を果たしてきた国際都市、横浜について見聞を広めました。日本大通りから横浜公園への銀杏並木を歩き、多くの歴史的建物や景観を見学できました。

横浜は、日本で2番目に人口の多い都市であり、日々変貌する魅力的な港町であるにもかかわらず、国内外の観光客にはその魅力がまだ十分に知られていないようです。今回、参加された会員の皆さんが、研修ツアーを通じて知り得た横浜の魅力を、多くの方々と共有していただけることを期待しています。

### 参加者の声

- ▶ 日米和親条約が締結された場所にある横浜開港資料館の「たまくすの木」。教科書で何度も目にしてきました。展示品の多さに驚きの資料館でした。
- ▶ 横浜港の海の玄関、大さん橋（国際客船ターミナル）に初めて行き、歩くところが全て木できており、ゆったりしたやさしい歩道にびっくりしました。
- ▶ 日本で初めての西洋式街路である日本大通り。貴重な歴史的建物をめぐり、銀杏並木をくぐり、ゆったりした時を過ごしました。



税関の仕事を学ぶ

# 成田市の多文化共生への取り組み

## 成田市多文化共生指針を制定

成田市に住んでいる外国人住民数は、令和 5(2023) 年 3 月末現在 6,873 人で、市総人口の 約 5.2%となっており、近年増加傾向となっています。

文化や生活様式が多様化している昨今、日本人住民と外国人住民が共に暮らしやすいまちづくりが必要であり、お互いがそれぞれの文化を理解し、多様な価値観を認め合う社会の実現のために、令和 3 年に多文化共生の指針が策定されました。

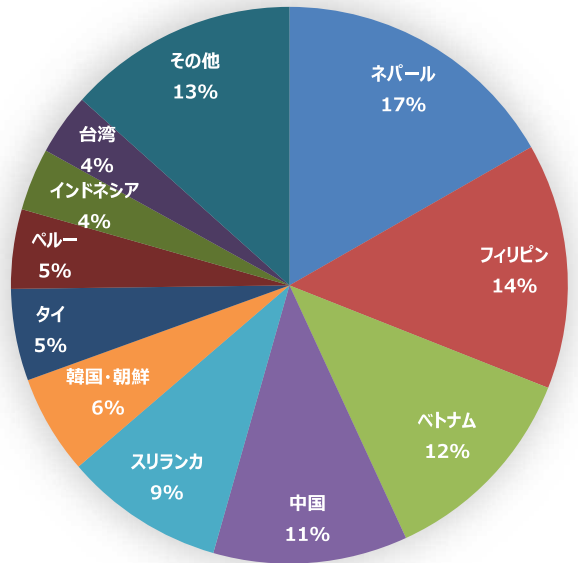
## 成田市国際交流協会の取り組み

外国人を対象に「やさしいにほんごクラス」を開講しています。現在、ネパール人やシンガポール人などの在住外国人 20 名が受講しています。受講生はクラスを通じて仲良くなり、日本語の学習だけでなく、生活面でもお互いに助け合い、成田市での生活に馴染もうと日々研鑽しています。

11 月 9 日には、クラスの受講者と日本人の参加者が、日本語を使って文化の違いや食習慣などについて自由に話す「にほんごサロン」を開催しました。

その他にも、協会ホームページ、フェイスブックなどで英語、中国語、韓国語による在住外国人向け情報を発信しています。

皆さまの周りで日本語の習得に興味のある外国人の方がいたら、是非声をかけてあげてください。



令和 5 年 市内外国人住民の国籍別内訳

(出典：住民基本台帳)



にほんごサロン

## 成田市多文化交流フェスティバル開催！

多くの外国人が居住する国際空港都市である成田市で、日本人住民と外国人住民が交流し、互いの文化について知識を深めるとともに、互いに文化や価値観を認め合い、多文化共生の意識啓発・醸成を図ることを目的に、成田市に住む日本人と外国人の交流のためのイベントを開催します。

第11回 成田市 多文化交流フェスティバル  
Narita Multicultural Festival  
2024.2.17(土) Sat.Feb.17/10:30AM - 3:00PM  
会場：成田市中央公民館 @Chuo-Kominkan (1-1-3 Akasaka)

民族衣装(みんぞうしやう)を着てきた人にはプレゼントが先着30人分あります!  
The first 30 visitors arriving in traditional costumes will receive a special gift, such as in celebrating culture and heritage!

お問い合わせ  
成田市多文化交流フェスティバル実行委員会事務局  
(成田国際空港・成田ステーション文化国際課内)  
TEL:0476-20-1534 Mail: bunkoku@city.narita.chiba.jp

着物や茶道の体験、世界の踊りの鑑賞、世界の料理を楽しむことができる他、日本語教室の紹介や日本での生活情報の紹介をするブースも設けられます。

当協会からは、世界の衣装のファッションショーや日本語と英語の交流イベントを実施します。

日時：令和 6 (2024) 年 2 月 17 日 (土) 午前 10 時 30 分～午後 3 時

会場：中央公民館 (成田市赤坂 1-1-3)

問い合わせ：成田市多文化交流フェスティバル実行委員会事務局

(成田市シティブロモーション部文化国際課 TEL20-1534)

当日の協会 PR ブース、民族衣装展示などの会場準備や運営のお手伝いをいただけるボランティアを募集します。

ご協力いただける方は協会事務局までご連絡ください。(TEL23-3231)

# お知らせ広場



## 姉妹都市・サンプルノ市との相互交流再開のお知らせ



成田市では、コロナ禍により長らく中断していた中学生相互派遣事業をこの3月より再開することになりました。これを受け、昨年12月に派遣中学生の募集、1月13日に面接選考会を実施しました。選考会を経て選ばれた派遣生徒は下記の内容で現地での交流を行います。協会では派遣生徒の事前研修などを通し事業をサポートします。また、7月にはサンプルノから訪問団を受け入れる予定ですので、ボランティアなど皆さまのご協力をお願いいたします。

**派遣期間**：令和6年3月22日（金）～28日（木） ※7日間

**活動内容**：サンプルノ市でのホームステイ交流・サンフランシスコ市内見学ほか

**問い合わせ**：成田市シティプロモーション部文化国際課 Tel.20-1534

### さんかしゃほしゅう 参加者募集！

#### ● 英会話サロン ～英会話を通して在住外国人と交流しよう～ スイーツ付き

日時：2月17日（土） 10:30～12:00

参加費：無料

会場：中央公民館2F 第5研修室

募集人数：10人

当日は、市内ALT他英会話の堪能な在住外国人の方々ファシリテーターとして英語での交流をお手伝いします。

#### ● にほんごサロン ～にほんごをつかってじぶんのくにについてはなそう～

にちじ：2がつ17にち（どようび） 12:15～13:15

さんかひ：むりょう

ばしよ：ちゅうおうこうみんかん2F だい5けんしゅうしつ

ほしゅうにんずう：10にん

※上記イベントは、2月17日（土）に開催される、成田市多文化交流フェスティバルのプログラムの一部として開催されます。もうしこみ きょうかいじむきょく申込みは協会の事務局（Tel.0476-23-3231）まで



## 令和6年度国際交流事業及び友好都市交流事業助成金の申請について

令和6年度に助成制度を利用される団体は、下記期間内に必要書類を成田市国際交流協会事務局へご提出ください。

申請期間…令和6年3月1日（金）～4月24日（水）（必着）

交付決定：令和6年5月中旬（予定）

※上記期間に申請された助成金の総額が予算額に満たない場合は、下記期間にて再度申請を受け付けます。

再申請期間…令和6年8月15日（木）～9月30日（月）（必着）

交付決定：令和6年10月中旬（予定）

※期間外の申請は受け付けませんのでご注意ください。

### 【編集後記】

最近はいろいろな職場で働いている外国人の姿を見受ける機会が多くなりました。

外国人の就労者数も年々増えてきており、厚労省の発表した2022年10月末で180万人と過去最高だそうです。

日本は少子高齢化により働き手が不足しており、これを補う役割をはたしています。こうした状況で、外国人の力を借り、共にうまく暮らせる共生社会をどのように創っていくかが重要だと思います。（Dai）

Newsletter（2024春号は4月下旬発行の予定です）

【編集・発行】成田市国際交流協会広報部会（〒286-8585 成田市花崎町760 成田市役所文化国際課内）

Tel:0476-23-3231 / Fax:0476-22-4494 / E-mail: nifs@ngy.3web.ne.jp

